

## 令和四年 高等部(特別の教科 道徳)年間指導計画

教科・領域名		道徳科	学年	1・2・3年	
作成責任者			教育課程・類型	Ⅱ課程・A類型	
道徳科の視点	自分自身に関する事	・望ましい生活習慣を身に付け、自主・自律の精神を重んじ、責任ある行動をする態度を養う。 (善悪の判断、自立、自由と責任、正直、誠実、節度、節制、個性の伸長、希望と勇、努力と強い意志)			
	人との関わりに関する事	・礼儀正しく、思いやりをもって人と接するとともに、広い心をもって異なる意見や立場を尊重し、経験を通して人間関係を築いていく態度を養う。 (親切、思いやり、感謝、礼儀、友情、信頼、相互理解、寛容)			
	集団や社会との関わりに関する事	・法やきまりの意義を理解し、社会の一員として働くことや社会参加することの充実感を味わう態度を養う。 (規律の尊重、公正、公平、社会正義、勤労、公共の精神、家族愛、家庭生活の充実、よりよい学校生活 集団生活の充実、伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度、国際理解、国際親善)			
	生命や自然、崇高な物との関わり	・自然の偉大さやかけがえのない生命の尊さを理解し人間として生きる喜びを感じる心を育てる。 (生命の尊さ、自然愛護、感動、畏敬の念)			
学期	月	時数	単元名	単元の目標	学習内容
一学期	4月 ～ 7月	12	○今の自分を見つめて	・今の自分自身を見つめて、自分を知り、みんなに紹介することができる。【自分・人】	・「道徳ファイル」を作成し活用する。 ・名前や特技、好きな食べ物など自分のことを、相手に知ってもらう。
			○自分の役割と責任 ○勤労や奉仕を通して	・働くことや社会に奉仕することの充実感を味わうとともに、その意義を理解し、公共のために役立つことをすることができる。【自分・集団や社会】	・集団の役割を知り、自分の果たしている役割について考える。 ・校内・現場実習の体験を通して、働くことについて考える。
			○命あるものを大切に(慰霊の日にむけて)	・生命の尊さを知り、命あるものを大切にすることができる。【生命や自然】	・沖縄戦の資料などを通して命の大切さや尊さについて考える。
			○礼儀正しく真心をもって	・時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接することができる。【人】	・伝統的な礼儀作法や日常的な礼儀作法について学び、相手に心を伝える作法について考える。
二学期	9月 ～ 10月	14	○希望と勇気をもってくじけずに ○短所を改め、長所を伸ばして	・より高い目標を立て、希望と勇気を持ち、困難があってもあきらめずに努力することができる。【自分】	・偉人のエピソードから、目標を持って一步一步努力していくことの大切さについて考える。 ・自分の長所短所について考え、自分らしさや個性を発揮するにはどうすればよいか考える。 ・家族のよさについて考えて、家庭の中で自分ができていることを考える。 ・沖縄の文化や自然にふれる。
			○家族の幸せをもとめて ○郷土を愛する心	・家族の幸せをもとめて、進んで家族の役に立とうとすることができる。【集団・人】 ・自分の郷土の伝統と文化にふれ、郷土を愛する心を持つことができる。【集団・生命自然】	
	11月 ～ 12月	14	○公共のために役立つこと ○法や決まりを守って	・社会に奉仕することの意義を理解し、公共のために役立つことをすることができる。【集団、社会】 ・法やきまりの意義を理解し、進んでそれらを守り、自他の権利を大切にしようとする。【集団社会・人】	・自分のなりたい職業ややってみたいボランティアについて考える。 ・社会にあるマナーやきまりについて確認し、なぜ守らなければいけないのかを考える。
			○相手の立場に立って親切に ○互いに信頼し学び合う	・思いやりの心もち、相手の立場に立って親切にすることができる。【自分・人】 ・友だちと信頼し学び合って友情を深め、人間関係を築いていくことができる。【人・集団】	・相手の気持ちや立場を考えて、思いやりを表現する方法を考える。 ・友だちとの付き合い方について何を大事にしたいか考える。
三学期	1月 ～ 3月	9	○よりよい校風をもとめて	・先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力しあって、よりよい学級や学校にするために、進んで行動することができる。【人・集団】	・美咲特別支援学校の自慢できる所や好きな所を見つけ、よりよい学校にするために自分たちにできることを考える。
			○自律的で責任ある行動を	・自律的に判断し、責任のある行動をすることができる。【自分】	・自由について考えを深め、自由だからこそ気をつけるべきことは何かを考える。
			○振り返り 「心の木大きくなったかな」	・自分の行動や学習を振り返ることができる。【自分】	・自分の行動を振り返る。授業態度や生活態度、言葉遣いや人間関係など。
年間授業時数			( 35 )時間		

## 令和四年 高等部(特別の教科 道徳)年間指導計画

教科・領域名		道徳科	学年	1・2・3年	
作成責任者			教育課程・類型	Ⅱ課程・B類型	
道徳科の視点	自分自身に関する事	・望ましい生活習慣を身に付け、自主・自律の精神を重んじ、責任ある行動をする態度を養う。 (善悪の判断、自立、自由と責任、正直、誠実、節度、節制、個性の伸長、希望と勇、努力と強い意志)			
	人との関わりに関する事	・礼儀正しく、思いやりをもって人と接するとともに、広い心をもって異なる意見や立場を尊重し、経験を通して人間関係を築いていく態度を養う。 (親切、思いやり、感謝、礼儀、友情、信頼、相互理解、寛容)			
	集団や社会との関わりに関する事	・法やきまりの意義を理解し、社会の一員として働くことや社会参加することの充実感を味わう態度を養う。 (規律の尊重、公正、公平、社会正義、勤労、公共の精神、家族愛、家庭生活の充実、よりよい学校生活 集団生活の充実、伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度、国際理解、国際親善)			
	生命や自然、崇高な物との関わり	・自然の偉大さやかけがえのない生命の尊さを理解し人間として生きる喜びを感じる心を育てる。 (生命の尊さ、自然愛護、感動、畏敬の念)			
学期	月	時数	単元名	単元の目標	学習内容
一学期	4月 ～ 7月	12	○自分のことを書いてみよう	・新しい先生や友達に自己紹介ができる。 【自分・人】	・「道徳ファイル」を作成し活用する。 ・名前や特技、好きな食べ物など自分のことを、相手に知ってもらおう。 ・絵を見ながら様々な場面でどうい挨拶をすればよいか考える。 ・自分の机やロッカーの整理整頓をすることができる。 ・学校の当番や家のお手伝いについて考える。
			○気持ちの良いふるまいを ○きそく正しく気持ちの良い毎日を ○働くことの良さを感じて	・気持ちの良い一日を過ごすために、何が大事か考えることができる。【自分・人】 ・働くことの良さを知り、みんなのために働くことができる。【集団・社会】	
二学期	9月 ～ 10月  11月 ～ 12月	14	○命あるものを大切に(慰霊の日にむけて)  ○良いと思うことは進んでやろう ○自分でやることはしっかりやろう	・どんな生き物にも、命があり大切にすることがわかる。【人・生命】  ・良いことと悪いことの区別をし、良いと思うことを進んでやることができる。【自分】 ・自分のやるべき勉強や仕事をきちんとすることができる。【自分】	・沖縄戦に関する絵本の読み聞かせや、校内散策での自然とのふれあいを通して、生きものの尊さを感じる。  ・様々な場面の絵を見ながら、どのように行動すればよいか考える。 ・学校や家でやるべき事を確認する。
			○働くことの良さを感じて ○家族の役にたつことを ○きまりを守って  ○お世話になっている人に感謝しよう	・働くことの良さを知り、みんなや家族のために進んで手伝いをする事ができる。 ・約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切に扱うことができる。 【自分・人・社会】  ・家族など日頃世話になっている人に感謝することができる。【人・集団】	・自分の係や当番をした時の気持ちや周りの家族や友だちの反応について考える。 ・身の回りのきまりや約束を確認し、守らないとどうなるかを考える。  ・日頃どんな人にお世話になっているかを考えて、ありがとうカードを作成する。
三学期	1月 ～ 3月	9	○すがすがしい心で  ○自分の生活を振り返ってみよう	・芸術にふれ、美しさや良さを味わい、すがすがしい気持ちになることができる。【生命や自然】  ・生活リズムを振り返ることができる。【自分】	・音楽鑑賞を通して芸術に親しむ。  ・睡眠や食事、運動などについて自分の生活リズムを振り返る。
			○ふるさとに親しみを持って  ○あたたかい心で親切に ○友だちと仲良く  ○振り返り	・沖縄の文化や生活に親しみ、愛着をもつことができる【集団・生命】  ・身近な人に温かい心で接し、親切にしたり助け合ったりすることができる。【人】  ・自分の行動を振り返ることができる。【自分】	・沖縄の言葉や食べ物、遊びなどに親しむ  ・様々な関係の人たちにそれぞれどのように接すればよいか考える。 ・友だちとの楽しかった思い出を絵や文に書く。 ・一年間を振り返る。
年間授業時数			( 35 )時間		